

トクサンコーカン

天理参考館
公開講演会

第 254 回

中国風の魅力 —山東省の資料を中心に—

＜第 80 回企画展関連＞ 7 月 22 日（土） 講師：中尾 徳仁（学芸員）

中国の山東省は、古くから風の制作が盛んな地域です。第 80 回企画展「風とあそぶ—中国山東省の風—」では、当館が所蔵する中国の風を出品します。今回はこれらの展示資料を題材にして、中国風の歴史や制作方法などを紹介します。併せて、講演者が 2012 年に山東省濰坊市で行った現地調査についてお話しします。

第 255 回

関西本線の盛衰

—関西鉄道の奮闘と駅弁ラベルから垣間見える現状—

9 月 30 日（土） 講師：乾 誠二（学芸員）

明治 22 年に営業を開始した関西鉄道は名阪間を結ぶ重要な幹線で、官設鉄道と熾烈な貨客獲得競争を繰り広げたことが知られています。明治 40 年の国有化後は、東海道本線の補完的な路線、限定的な地域路線となっていました。路線図や時刻表等の資料からその歩みをたどるとともに、駅弁ラベルから関西本線の現状について見てみます。

シリーズ『創設者・中山正善の足跡』

本年は、当館創設者・中山正善氏の没後 50 年の節目の年に当たります。創設者の生前の功績を偲び、その足跡を改めて振り返るシリーズ講演を 2 回にわたり開催します。

第 256 回

シリーズ① 創設者とオリエント学

10 月 21 日（土） 講師：巽 善信（学芸員）

創設者は日本オリエント学会の設立準備メンバーで、同学会の常務理事も務めました。オリエント学との関わりは深いと言えます。最も遠い地域の最も古い文明を学ぶ意義は何だったのでしょうか。古代エジプトのように死者を「身体ぐるみ昔の儘にして置くという様な考え方が、我々の東洋と申しますか極東にどのような影響をして居るか」という創設者の問題意識には、日本人の本質的理解につながる重要な意味があります。

◆会場：当館研修室 ◆時間：13 時 30 分～（受付は 30 分前より）

◆定員：100 名（申込み不要／当日先着順）

◆受講料：入館料のみで受講できます（友の会会員 300 円，一般 400 円）

※常設展および開催中の企画展もご覧いただけます。

天理参考館
寄付のご案内

天理参考館では皆様からの寄付をお願いしております。詳細は下記のサイトをご覧ください。
<http://www.sankokan.jp/etc/kihu.html>

世界の生活文化と考古美術の博物館
天理大学附属

天理参考館

TENRI UNIVERSITY SANKOKAN MUSEUM
〒632-8540 奈良県天理市守目堂町 250 番地
TEL 0743-63-8414 FAX 0743-63-7721
URL <http://www.sankokan.jp/>